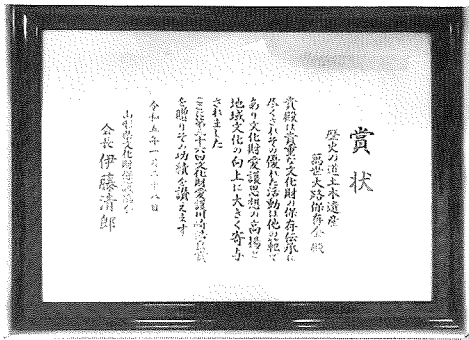
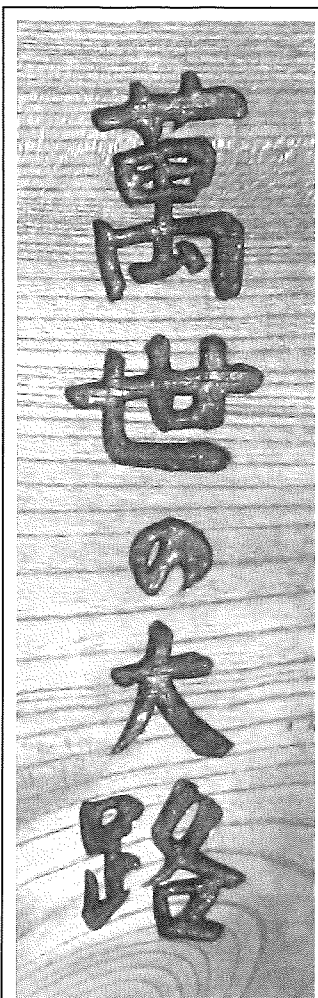


愛護川崎
浩良賞
は、県内
における
文化財保
護団体等
のうち、
その活動
内容が優
れており
他の模範
となるも



第36回 文化財愛護
川崎浩良賞受賞

令和4年10月26日に米沢市社会教育文化課から電話が入り、山形県文化財保護協会会長伊藤清郎会長名で歴史の道土木遺産萬世大路保存会が選考委員会の慎重審議の結果、受賞決定通知が届いたとの知らせでした。授賞式は山形の遊学館で令和5年1月28日(土)午後1時15分から行われました。



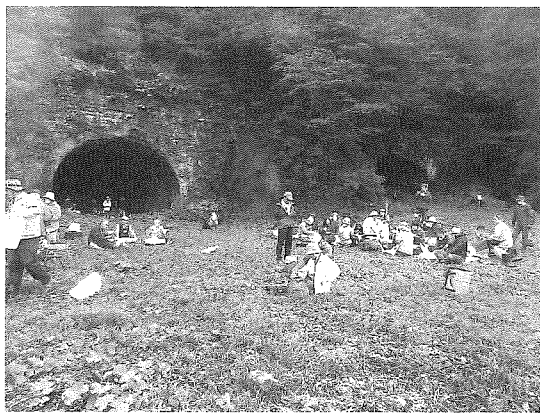
第33号
令和5年2月24日発行
発行者
歴史の道 土木遺産萬世大路保存会
会長 梅津幸保
事務局
万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381
題字は村山道雄元山形県知事

のを対象として市町村教育委員会が推薦し、表彰選考委員会が決定して年一回表彰されるものです。

萬世大路秋の散策

令和4年10月8日(土)、万世コミセンを22名がマイクロバスで元気に出発しました。栗子隧道坑口では芋煮鍋

が待っています。スタッフは芋煮担当とガイドの10名。肌寒い天気の中、瀧岩上橋からの散策です。チエー



山の姿が見えずがっかりしていたところ、みるみる霧が上昇してほんの一瞬だけ栗子山を見ることができました。この日は7月16日に予察を行った山形県応用地質研究会の現地視察会(25名参加)があつて、隧道坑口広場は秋の散策会参加者と合流して大賑わいとなりました。散策会と芋煮鍋を賑やかに食べたあとは、堤副会長が抹茶を振舞いました。

大勢が集まったので、梅津会長が萬世大路の歴史を解説し、研究会の大会会長と田宮顧問が7月に予察した後の調査中の報告と栗子山の成り立ちと岩質について解説していただきました。めったに聞けない学術的なお話を聞くことができて、各分野の知見を集積すれば散策だけではなく、栗子山の自然学習の場としての活用性を感じたところです。

梅津幸保会長が榮譽ある
齋藤茂吉文化賞を受賞

令和4年9月10日(土)の山形新聞で2022年度授賞者3個人が選ばれたとの記事が載りました。3名の方々には、人文科学(郷土史)に梅津幸保さん(米沢)、美術(書道)に鈴木千岳さん(天童)、音楽(合唱)に吉田ユカリさん(山辺)の3個人です。

梅津会長の功績事績は、置賜地方に特徴的な石碑である「草木塔」について、初めて悉皆調査をまとめ、その後の草木塔研究に尽力。万世大路の調査を進め、選奨土木遺産の認定や「未来に伝える山形の宝」登録に貢献した。置賜民俗学会顧問、歴史の道土木遺産萬世大路保存会会長を務めていると紹介されました。

齋藤茂吉文化賞は昭和30年に創設され、芸術、学術等の本県文化の向上における功績が顕著な個人または団体に対し文化の日に贈呈しているもので、山形県文化の振興に大きな役割を果たしています。歴史の道土木遺産萬世大路保存会でも名誉ある表彰の地元での祝賀会を行うべく9月30日に保存会役員で準備会を立ち上げ、10月15日に梅津幸保氏齋藤茂吉文化賞受賞記念祝賀会実行委員会(後藤源委員長)を立ち上げて、12月10日にグラウンドホクヨウで盛大に祝賀会を行いました。